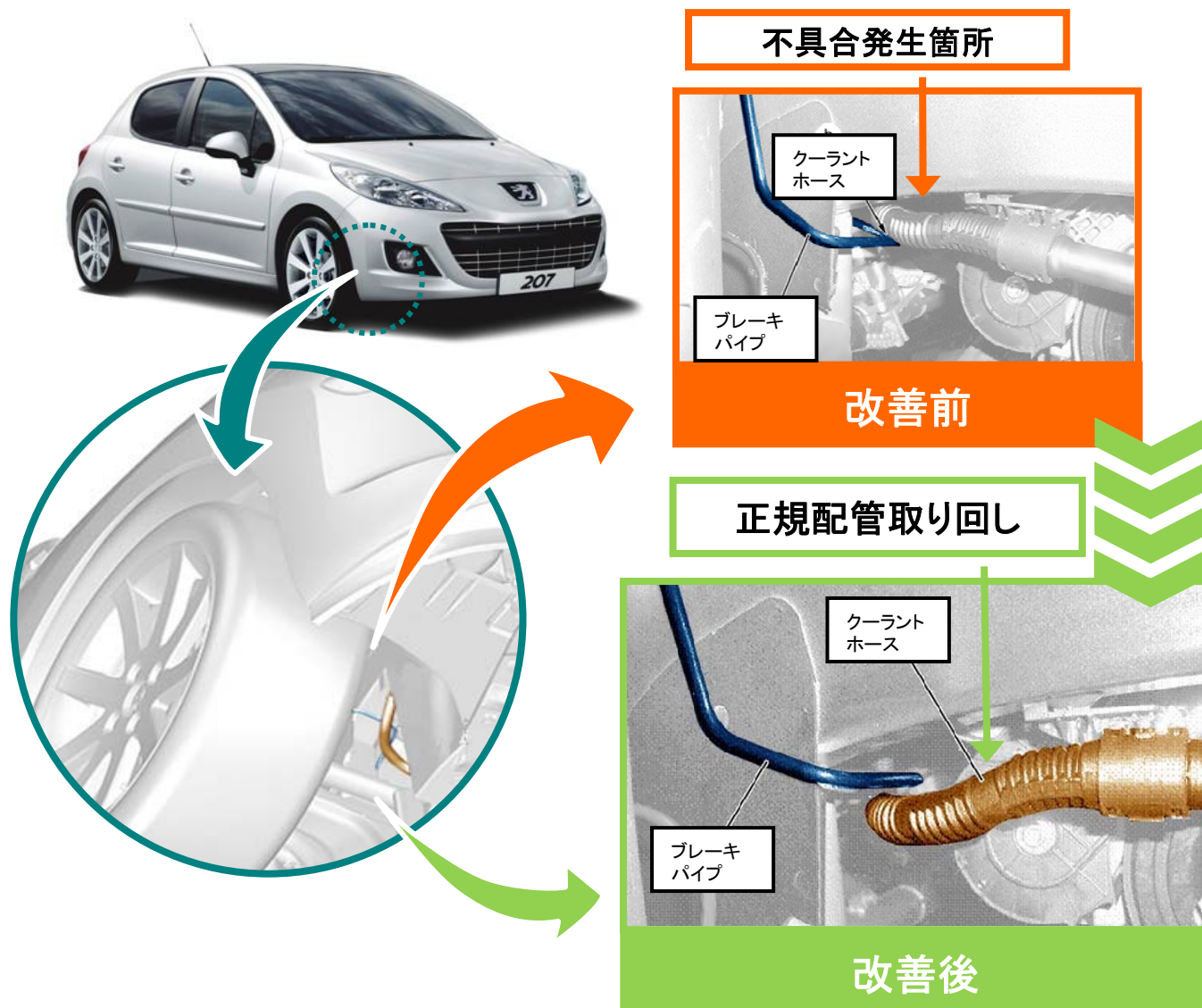


改善箇所説明図



注: ☐ 内は不具合部位と改善後の状態を示す

保安基準不適合箇所

右フロントフェンダー内において、クーラントホースの取り回しを誤ったため、当該ホースがブレーキパイプと接触しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプの表面被膜が剥がれ錆耐久性が低下し腐食する場合があります、最悪の場合、ブレーキパイプが損傷し、ブレーキ液が漏れ制動能力が低下するおそれがある。

改善内容

全車両、クーラントホースの取り回しを確認し、誤っている場合は正しい取り回しに変更する。損傷を受けている部品がある場合は、当該部品を新品に交換する。

識別表示

配管位置の誤りが目視で容易に確認可能のため、特に行わない。